

国会通信

茨城選出の議員

パリ協定未批准
「政府無策」批判

民進・藤田氏

民進党の藤田幸久氏(参院茨城)は25日、参院外交防衛委員会で質問に立ち、地球温暖化対策の新たな国際枠組み「パリ協定」を米国や中国など温室効果ガス排出の多い国が批准した一方、日本で批准案の国会提出が遅れたことを「政府の無策だ」と批判した。

藤田氏は、早くから米国や中国、インドなど主要国が批准に向けた動きを進めていたのに政府が適確に情報分析できなかつたと批

判。政府の地球温暖化対策推進本部が4月以降開かれなかつた点にも疑義を示し、「政策的、戦略的に日本の将来に関わることを意思決定しなかつた問題は大きい」と訴えた。

岸田文雄外相は「日本として本年中の早期発効、批准を目指して努力してきた。今臨時国会中(の国会承認)としていたが、国際的な動きを見ながら急がせて取り組んだ」などと釈明した。